



安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第10号

きらきら Eyeランド

JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

8月も高温で経過する見込み！ 登熟を高める水管理で品質向上を！

今年の出穂期については平年より1～2日程度遅れる予想でしたが、高温・多照の影響で平年並～2日程度早まりました。

仙台管区気象台の1カ月予報（8月2日発表）によると、今後1カ月の気温は高いと予想されています。出穂後20日間程度高温が続くと、白粒の発生や胴割粒の発生が心配されます。天候に対応した水管理を行い充実した高品位米生産に努めましょう。

また、斑点米カメムシ類については7月12日に注意報が発表されており、葉いもちについても葉色の濃い圃場や過繁茂の部分で確認されています。圃場の見回りをを行い、病害虫の発生状況を確認し防除の徹底を図りましょう。

◎出穂期（平坦部） ※つや姫(コシカ)、つくばSD2号については予想出穂期

どまんなか	雪若丸	はえぬき ひとめぼれ	つや姫(コシカ)	つくばSD2号
7/30～8/2	8/3～8/5	8/3～8/5	8/9～8/11	8/11～8/13

◎7月30日のJA展示圃生育状況（ ）内は平年対比、但しSD2は指標対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉 色
はえぬき	83.6 cm (108)	475 本/m ² (91)	12.6 (+0.2)	39.1(+1.4)
ひとめぼれ	83.2 cm (101)	437 本/m ² (93)	12.4 (-0.1)	32.2(-3.3)
つ や 姫	82.8 cm (104)	419 本/m ² (93)	12.5 (±0.0)	36.5(+0.4)
つくばSD2号	83.9 cm (113)	500 本/m ² (89)	12.6 (±0.0)	34.6(-1.1)
雪 若 丸	84.0 cm (—)	525 本/m ² (—)	12.8 (—)	44.2(—)

※葉色は葉緑素計（SPAD）の測定値による。

7月30日の生育状況は、草丈が平年並、茎数はやや少なく、「はえぬき」「ひとめぼれ」の出穂期は平年並～2日程度早まりました。

技、其の一 高温による品質低下を防ぐ為、徹底した水管理を！

出穂期以降に高温が続く場合は、胴割粒・乳心白粒による品質低下が懸念されます。当地区では、過去に右枠のような高温による品質低下を経験しています。

収穫期まで気を抜かず、天候に即した水管理で品質向上に努めましょう。

過去の高温年での

酒田飽海地区の一等米比率

平成 6年	45%	(乳白粒等の多発)
平成11年	6%	(乳白粒等の多発)
平成18年	87%	(胴割粒の多発)
平成22年	75%	(乳白粒等の多発)

《登熟期の水管理の基本》

出穂後日数	圃場の土壌水分保持の目安
～20日	くぼみ、作溝等に水が残っている程度。それ以上は乾かさない。
21日～30日	足を入れて、かかとの部分に水がにじみ出る程度。
31日以降	黒乾亀裂（一部ひびが入る程度）。※白乾亀裂までにしないこと。但し、刈取り間近になったら、作業に支障のない程度まで乾かす。

◇出穂後20日間は玄米形成に最も重要な時期です。2湛2落（間断灌水）を基本としながら、収穫時まで水を切らさず根の活力維持に努めましょう。

◇庄内地域は海洋性の気候により、日中と夜間の気温差が小さい地域です。高温時は各地区の給水規則を守り夜間灌水を徹底し、日中と夜間の温度較差をつけて登熟を高めましょう。

◇高温、強風時（フェーン現象）には、稲体の消耗が大きくなるので、事前に湛水し稲体を保護しましょう。

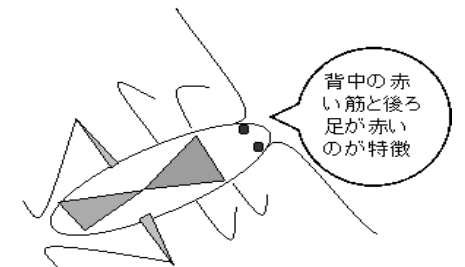
◇完全落水は出穂から30日以降を目安とします。早期落水は登熟を妨げますので、最後まで必要な水を与えましょう。

技、其の二 斑点米カメムシ類注意報発表！

① 斑点米カメムシ類

病害虫発生予察情報（8月1日現在）では、発生量は「やや多い」となっております。

カメムシ被害防止の為には、8月中の草刈りを控え、水田内への進入を防ぎましょう。



アカスジカスミカメ 体長：5～6mm
最近急増している種。ヒエ、ホタルイの発生が多い圃場で多発生傾向！

② アワヨトウ

飛来性害虫である「アワヨトウ」が6月中旬頃から牧草地を中心に発生が確認されています。今後次世代の幼虫が8月中旬頃から見え始めた場合、8月下旬～9月上旬にかけて食害の被害が懸念されます。葉がなくなるほど食害されると、収量・品質が著しく低下します。

過去の発生事例から、被害の受けやすいと思われる水田は、「葉色の濃い圃場」「夜間明るい場所」です。また、幼虫の発育とともに、短期間で被害が拡大しますので圃場をよく観察し、アワヨトウがみられた場合、速やかに最寄営農課へご相談ください。



アワヨトウの中齢幼虫

③ 穂いもち

穂揃期を迎え、穂いもち（特に穂首いもち）感染の危険性が最も高い時期となります。上位葉に葉いもちが見られる圃場では、穂いもちの発生が懸念されますので、圃場を見回り、追加防除を実施しましょう。特別栽培米については、営農指導員へご相談下さい。

技、其の三 大豆の管理はこまめな巡回と適期防除を！

今年の大豆の開花期は、平年並となっていますが、は種時期により開花期に差が見られます。現在の生育は草丈・主茎長・主茎節はやや少ない～平年並の状況です。

品 種	リュウホウ	エンレイ	里のほほえみ
開花期	7/25頃	7/28頃	8/1頃
防除適期	紫斑病 開花期25日後～35日後		
	マメシンクイガ 1回目 8月25日頃 2回目 9月5日頃		
	ジャガイモビガカアブラムシ 8月上旬～中旬		

- ※紫斑病防除は莢にも薬剤がかかるよう丁寧に散布しましょう。
- ※アブラムシ防除は葉裏にも薬剤が十分かかるよう散布しましょう。
- ※防除薬剤については、「大豆生産基準」に基づき指定薬剤を使用しましょう。



しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫・雪若丸

つや姫・雪若丸情報コーナー



○ 出穂期には灌水管理を！

出穂期は、特に水分を必要とするため、灌水管理としてスムーズな開花受精を促しましょう。出穂期以降は間断かん水（2湛2落等）で登熟をサポートしましょう。

○ 「つや姫」は登熟期の葉色診断で玄米粗タンパク値のチェックを！

「つや姫」の穂揃期はSPADで「35以下」、出穂20日後は「32以下」が目安です。

○ 落水時期は出穂後30日以降に！

早期落水は品質の低下を招きます。落水時期は、出穂後30日以降としましょう。

緊急号をご確認ください

8月5日の大雨並びにフェーンによる白穂の発生等稲に対する被害が続いております。台風13号発生しておりますので直ちに圃場への入水をお願いいたします。

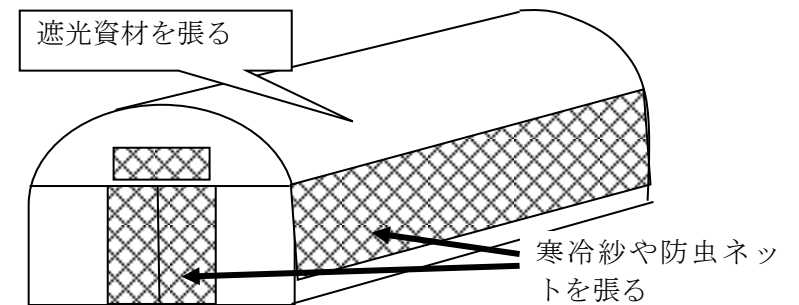
秋出しストックの栽培暦(直まき)

栽培のポイント

- ・発芽適温は20～25℃で、それ以上（熱帯夜が続くよう）だと発芽率が悪くなる。
- ・ハウスサイドを巻き上げ、裾ビニールも可能な限り引き下げて通風を確保し、温度の低下を図る。
- ・コナガがつきやすいので防除を徹底すると共に、寒冷紗等で侵入防止に努める。
- ・冬季は最低温度5℃を確保し、夏季は日中30℃以下を目標に温度管理を行う。

○は種準備くハウス準備く

- ・コナガ侵入防止のため、開放部（サイド、妻面）に寒冷紗を張る。
- ・は種3日以上前から遮光率30～50%の遮光資材を張り、地温を下げしておく。



く土壤消毒く

- ・立枯病等の土壤病害防除と雑草防除のために、ダゾメット剤又は土壤還元消毒等を行う。(10a当たり)

○は種 ☆重要なポイント☆

- ・ほ場はできるだけ均平にし、覆土は厚さを揃えて5mm以内とする。
- ・発芽を揃えることが八重鑑別成功のポイント。

基肥	ログ肥料70日タイプ 有機&イト 苦土重焼燐 苦土石灰	60kg 100kg 20kg pHに応じて
追肥	有機&イト	60～80kg

栽植密度 条間15cm×株間13～15cm、6～8条植え。

く温度管理く 発芽適温：20～25℃（暑いと発芽不良） 発芽日数：3日

ハウス換気の徹底：通風良くして涼しく管理

遮光：は種後7～10日程度は温度低下、乾燥防止のために被覆する（子葉が完全に展開したら外す）。

く水管理く は種～発芽：乾かさないうにかん水（毎日2～3回程度）。

子葉展開～は種1ヶ月後：土壌表面が乾いたら灌水（毎日1～2回程度）。

○八重鑑別

は種8日後頃（発芽揃い期）と15～18日後頃、2回に分けて八重鑑別を行う。

○その他の管理

く追肥く は種後35日ころ、有機&イト等の肥料を10坪あたり1～2kg追肥し、条間を軽く中耕する。

くワウネットの設置く 草丈15～20cmのころ、15cm×8目のネットを張る。支柱の高さ10cm程度のところにマイカー線を張る。生育に従ってネットを上げる。

く摘心く スプレーストックは、頂花が色づいた頃に摘心し、分枝させる。2～3回に分けて順次行う。

★次号の発行は9月11日です！